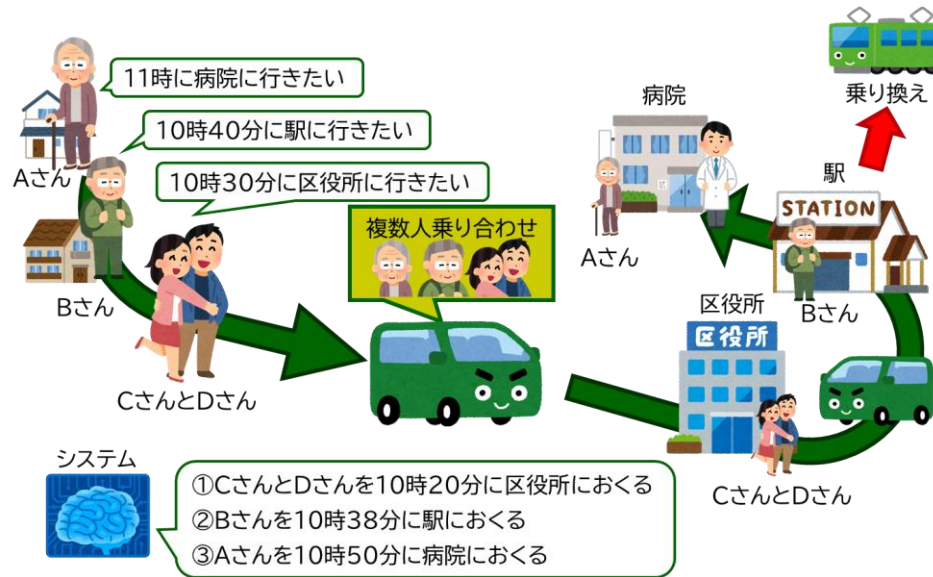
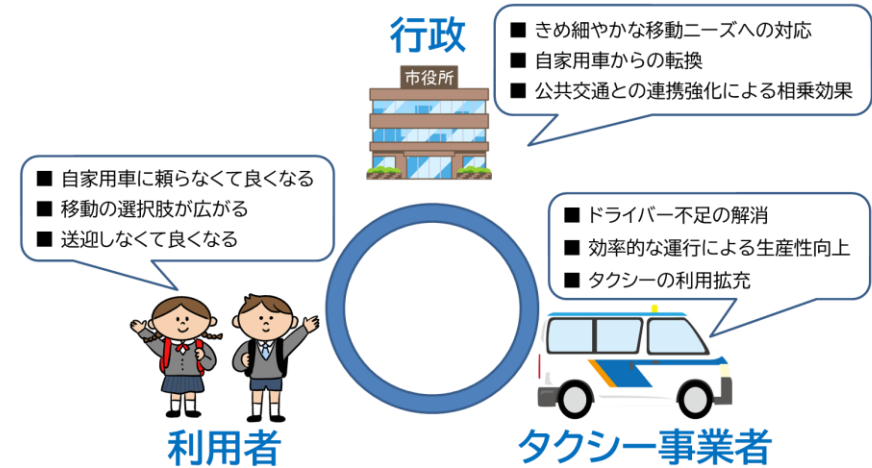


運行のイメージ

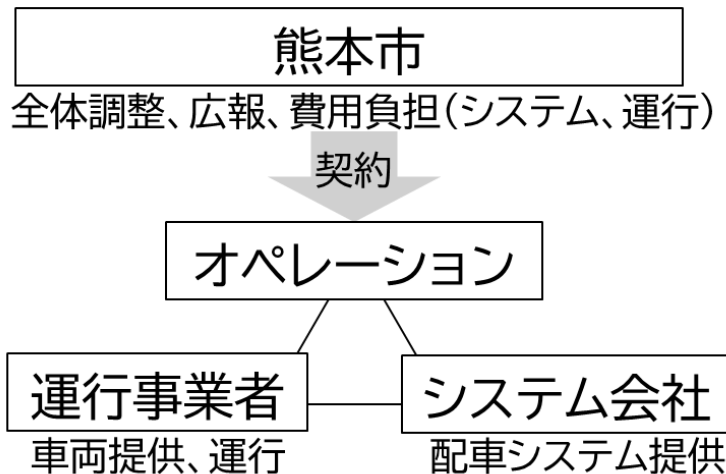


期待される効果



既存の公共交通と競合しない**新たな移動手段**の可能性

運行体制のイメージ



スケジュール

項目	令和4年度			令和5年度
	夏頃	秋頃	冬頃	4月～
実証実験 実施・検証		■R4.10月頃～ 実証実験の実施・検証		
コミュニティ 交通部会	■R4.8月 実証実験の 方向性について		■R5.1月頃 実証実験の分析 R5年度方針など	

AIデマンドタクシーの実証実験について

資料1

■ 既存公共交通を補完し、効率的な運行を可能とするAIを活用した新たなコミュニティ交通の実証実験を行い、今後のコミュニティ交通としての可能性を検討

【郊外部】

■ 内容(案)

メインターゲット **「高齢者」**

項目	内容
目的	日常生活に必要な移動手段の確保(従来の乗合タクシーより利便性向上)
運行期間・時間	R4.10月頃～(最低3ヶ月) 平日週4日程度 8時～16時
予約方法	アプリ・電話、リアルタイム・事前での予約が可能
車両数	常時1台貸切(ジャンボタクシー)
運行態様	区域運行(停留所設置型)
料金	1運行 300円程度を想定

■ エリア(案)

天明地区周辺

【エリアの特徴】

○地区の75歳以上人口率が多い(約22%を占める)



【市街地部】

■ 内容(案)

メインターゲット **「小中学生」(保護者)**

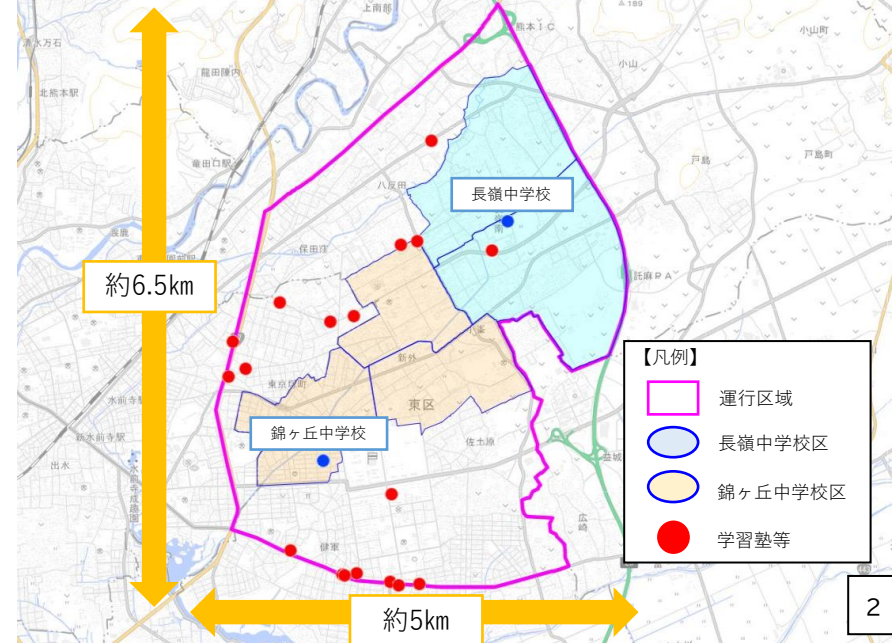
項目	内容
目的	児童育成クラブ・部活動・塾・習い事の送迎 (子育て世代の負担軽減、自動車交通からの転換)
運行期間・時間	R4.10月頃～(最低3ヶ月) 平日週5日程度 15時～21時
予約方法	アプリ・電話、リアルタイム・事前での予約が可能
車両数	常時2台貸切(ジャンボタクシー)
運行態様	区域運行(停留所設置型)
料金	1運行 100円程度を想定

■ エリア(案)

事業者からの提案を含め検討(下記エリアが候補)

【エリアの条件案】

○小中学生の人口が多く利用ニーズが高い ○目的地となる学習塾などが多い



健軍地区におけるAIデマンドタクシーの実証実験

- 令和3年度、健軍地区周辺において産学官の連携によるAIデマンドタクシーの実証実験を実施
- 交通結節点(健軍電停)を中心としたラスト・ファーストマイルなどの機能の確認

1.利用状況等

■運行期間・運行時間

令和3年10月11日(月)～11月22日(月) 平日8時～20時

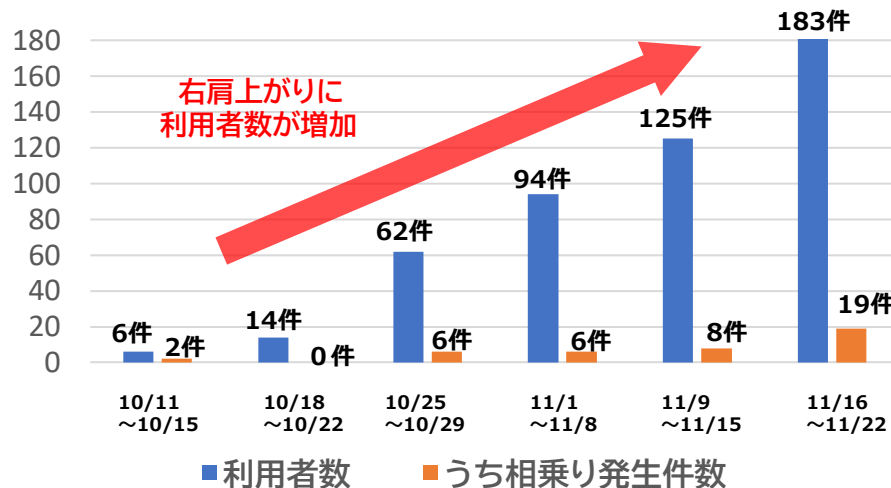
■利用者数

期間中 利用者数	延べ利用者数			相乗り発生数	
	アプリ	電話	合計	相乗合計	日当最大
177人	122件	362件	484件	41件 (8.5%)	8件

■利用状況(平日のみ、5日間単位)

※2回以上利用した方は84名(47%)

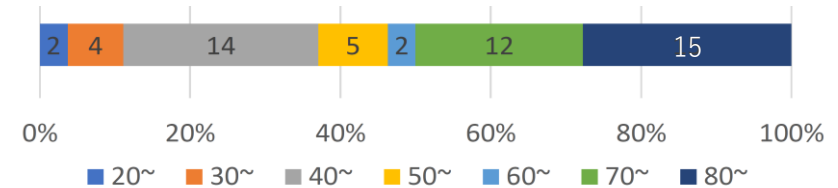
ピアクレスAIタクシー利用者数
(10/11～11/22)



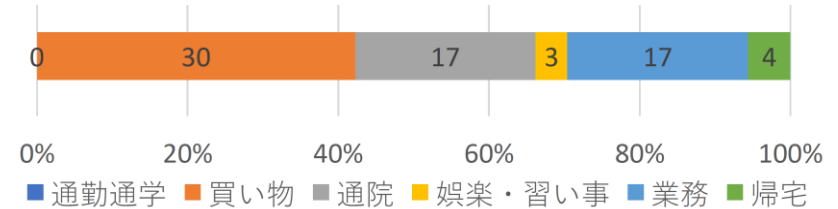
2.利用者の特性(アンケート調査)

AIデマンドタクシー実証実験の期間中利用者(177人)に実証実験の事後調査(アンケート)を実施、うち71名から回答

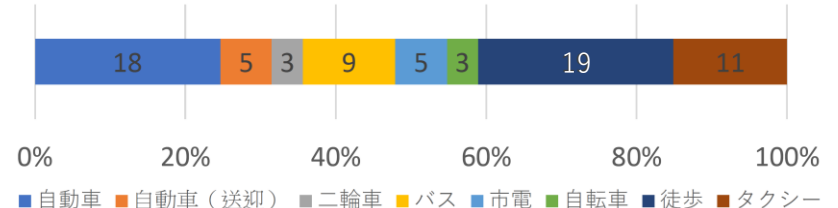
■年齢階層



■利用目的



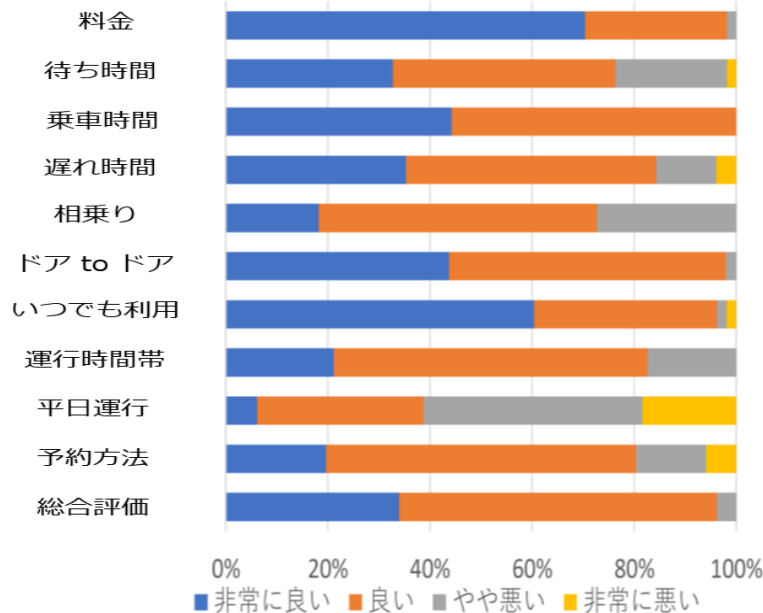
■日頃の移動手段



■発地・着地間トリップ

発着地の合計で1番多かったのは若葉(市電健軍町周辺)

■項目別評価



3. アンケート、ヒアリング

■利用者・非利用者意見

良い点	● 数回利用したが、外出や触れ合う機会が増えた ● スマホで時間指定して予約もできるので便利 ● 相乗り乗車を初めて経験したが、新鮮で良かった ● 運賃が安くなるなら相乗りでも利用したいと思う
改善点	● 中心市街地エリアでの運行、夜遅くまでの運行、土日運行、2～3日前からの予約についても対応して欲しい ● ID、PWの入手方法やアプリの利用方法がわかりにくかった ● 知らない人との相乗りには抵抗がある ● AIデマンドタクシーを知ってもらうには時間がかかると思う

■タクシー事業者

良い点	● タブレットの利用も慣れれば運行に支障はない ● 相乗りにより、1台の車両での効率的な運行を体験できた
改善点	● アプリに表示される到着予定時刻内に到着できないこともあった ● 相乗りは、他人同士の乗車となるのでトラブルが発生しないか心配

4. 効果・検証

- ✓ 利用者の約半数がリピータであり、実験期間の後半では利用者が多かった
- ✓ 利用者の日頃の移動手段は、「自動車」や「自動車による送迎」が約3割を占めており、車利用からの転換も多かった
- ✓ 利用者の総合評価では、「非常に良い」、「良い」の合計が95%を超えており、今回の実験に対する評価は非常に高かった
- ✓ 一方で、エリアや時間帯の拡大といった不満や改善の声もあり、利用者ニーズや運行面の再確認が必要である
- ✓ 相乗りに前向きな意見もある一方、不安という声もあった。事前確認制度や相乗り発生率を高める取組を行い、相乗りの許容度について再確認が必要
- ✓ 実験に不参加の方も、AIデマンドタクシーの必要性はあるとの回答が多数
- ✓ 登録方法や広報周知を工夫し、潜在的な利用者をいかに増やすかが重要

利用者・目的地を明確にした効率的な運行を検討
(既存の公共交通とのすみ分け・乗合率の向上)